

活動名称 (40字以内)	サウジアラビア プリンセス・ヌーラ大学 国際交流体験活動		
団体名等	総括プロジェクト機構「太陽光を機軸とした持続可能グローバルエネルギーシステム」総括寄付講座		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		3~6 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input type="checkbox"/> 含む <input checked="" type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	・学部前期・後期課程学生・ <b>女子のみ参加可能</b> (英語による解説が理解でき、現地学生と交流できる程度の英語力を有すること)		
活動期間	2024年3月上旬~2024年3月中旬(予定) 9日間	主な活動予定場所	サウジアラビア リヤド
目的	基本的なアラビア語を習得すると同時に、アラブ文化に触れ、サウジアラビアの女子大学生との文化交流を図る。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>◆本体験活動では、サウジアラビアの首都リヤドにある女子大学プリンセス・ヌーラ大学にて、学生が基本的なアラビア語を習得し、現地大学生との文化交流を図る事を目的としている。基礎アラビア語の習得に関しては、プリンセス・ヌーラ大学が本活動のために用意した短期集中プログラムに参加し、アラビア語のアルファベットや基本的な会話を習得する。</p> <p>◆また、プリンセス・ヌーラ大学滞在中には現地学生との交流イベントに参加し異文化交流を体験する。特に、イスラム圏の女性がおかれている社会環境に関して一般的に認識されている状況と実態との違いや、イスラムの教義の人文的背景に関する本質的理解を深める。プリンセス・ヌーラ大学では多くの講義が英語で行われており、在校生、特に理系の学生は基本的に英語が堪能である。よって本プログラム参加者には英語で自身や日本文化の紹介ができることが求められる。</p> <p>◆現地滞在中、参加者はプログラムの空き時間を使いリヤド市内を視察し、近代的なモールや伝統的な市場であるスークを訪れサウジアラビアの文化や社会に触れる。また、在サウジアラビア日本大使館や、アブドゥッラー国王原子力・再生可能エネルギー機構(いずれも変更の可能性有り)などの国家機関を表敬訪問し、日サ関係の現状と将来に関して学習する。</p> <p>◆現地活動を予定しています。コロナウィルス感染状況により、直前にオンライン実施に切り替える可能性あり。</p> <p>◆プログラムに関する問合せ先: <a href="mailto:imaizumi@hotaka.t.u-tokyo.ac.jp">imaizumi@hotaka.t.u-tokyo.ac.jp</a> (今泉)</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類審査を通過した候補者に対し、面接を行う。</li> <li>・事前オリエンテーションの出席必須。</li> <li>・引率職員が同行。</li> <li>・宿泊先はプリンセス・ヌーラ大学の学生寮を予定。</li> <li>・現地滞在中は、現地の服装規定、行動規範に従うことが求められる。</li> <li>・現地で着用する黒い長衣(アバヤ)は貸与。</li> <li>・A型肝炎の予防接種を推奨。</li> </ul> <p>現地でのコロナ感染により、空港までの移動が制限される場合の交通費は原則自己負担とする。また、渡航中における体調不良により予定通りに帰国出来ない場合及び救援・救護が必要になった場合は、家族が速やかに現地に赴く必要がある。引率者は家族が到着する迄のみ対応する。</p>		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)		その他*特記事項は以下に記載 ・ビザ取得費用:約2万円 ・プログラムが指定する航空便により東京ーリヤド間を往復する。国内の居住地と空港間の交通費、現地の市内で移動する為の交通費、現地での宿泊費と食費、博物館等の入場料は参加者の自己負担とする。左記の宿泊費は前年度の見積額である。
	交通費	実費 円	
	宿泊費	約30,000 円	
	現地交通費	実費 円	
	食費	実費 円	
	計	円	
	奨励金額		活動後に算出
ウェブサイト等	プリンセス・ヌーラ大学: <a href="http://www.pnu.edu.sa/en/Pages/Home.aspx">http://www.pnu.edu.sa/en/Pages/Home.aspx</a> 太陽光寄付講座(GS+I): <a href="http://www.gsi.u-tokyo.ac.jp/">http://www.gsi.u-tokyo.ac.jp/</a>		